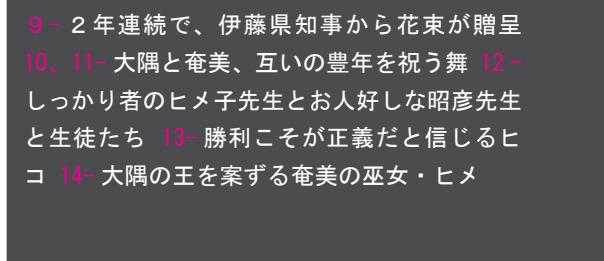
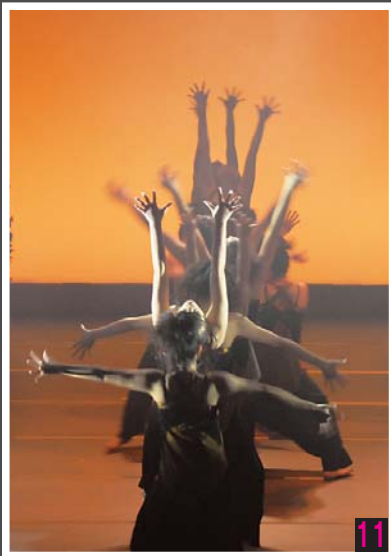




1- ホールに響きわたるキャストの歌声 2、3- 華麗なダンスの舞いで観客を魅了 4- 緊張感の中での本番直前リハーサル 5- 初日の楽屋で、ほっとひと息の瞬間 6- 歌とダンスの微調整を行うリハーサル 7- 古代にタイムスリップする少女マナ 8- 圧巻のダンスパフォーマンスでクライマックス



9- 2年連続で、伊藤県知事から花束が贈呈 10、11- 大隅と奄美、互いの豊年を祝う舞 12- しっかり者のヒメ子先生とお人好しな昭彦先生と生徒たち 13- 勝利こそが正義だと信じるヒコ 14- 大隅の王を案ずる奄美の巫女・ヒメ

フォト特集◎ 高校生ミュージカル ～4年目の挑戦～

「ヒメとヒコ～ある王の物語～」



2月12日・13日にリナシテイかのやで、高校生によるミュージカル「ヒメとヒコ」ある王の物語」が上演されました。

2008年から毎年上演し、今年で4年目を迎えるこのミュージカルは、弥生時代から古墳時代にかけて、特殊な力を持った女性のリーダー、奄美大島のヒメと実際の政治を行う男性のリーダー、大隅のヒコの二つの地域間で起こる物語。

ヒメは巫女(みこ)と呼ばれ、自然の変化を読み、漁の安全や豊作を呼び込む女性のリーダー。

力こそ全てと信じる大隅のヒコは、奄美のヒメやその父と出会う。そして、現代に生きる少女マナと、それをとりまく大人たち。交易が始まり、お互いの豊年を祝うその先に起こる悲劇の物語。

「」の物語のテーマは「読む力」で、自然の変化を読む力、人の気持ちを読む力。

真のリーダーとは、権力ではなく、この「読む力」を備えた者ではなかったのか。古来、日本の集落(ム

ラ)が持っていた相手思い、助け合って暮らしてゆく『結(ゆい)』の精神を忘れないようにしようという脚本・演出家である松永太郎さんのメッセージが込められているミュージカル。

また、普通の高校生生活を送る少女マナがヒメとヒコとの出会いを通して、郷土愛に目覚めていくという物語でもあります。

舞台には、大隅半島の高校から希望した高校生10人のほか、鹿屋女子高校音楽部、鹿屋中央高校合唱部、国分中央高校ダンス部、奄美大島の大島高校新体操部の総勢約100人が出演し、訪れた観客を感動の渦に巻き込みました。

上演終了直後には、伊藤祐一郎県知事やNHK『おかあさんといっしょ』の「歌のお兄さん」として活躍した速水けんたろうさんから、舞台の出演者に花束が手渡され、満員の会場は称賛の拍手に包まれました。

【問い合わせ】

リナシテイかのや
☎0994-35-1001